

# 昭和62年度の地質調査所の研究(2)

## 企 画 室

Research Planning Office

### II 経常研究

地質調査所では 所における研究課題の位置づけによって 経常研究を 所内指定研究 所内特別研究 一般経常研究に区分し 研究業務を推進している。

以下 昭和62年度経常研究の研究方針と 研究計画の概要を各研究グループごとに紹介する。

#### II.1 所内指定研究

所内指定研究は 地質調査所の共通基盤の研究のうち最重点課題ともいふべき研究である。昭和62年度も国土の開発・利用・保全等の基盤となる5万分の1地質図幅の作成を所内指定研究とし 協力で推進する。

##### II.1.1 特定地質図幅の研究

###### 〔方針〕

5万分の1地質図幅を作成する。特に活断層・リニアメント・悪地形等の顕著な地区及び社会的要請の強い地区から優先的に本研究を実施する。昭和62年度は5ヶ年計画の3年目として 19図幅の地域において野外調査を行い 地震予知研究等に資する。

###### 〔計画の概要〕

61年度から 新たに35図幅を5ヶ年計画で作成することとし 昭和62年度は19図幅の調査研究を行うとともに 60年度に野外調査を完了した8図幅について 地質図及び研究報告書を印刷する。

##### 1. 印刷図幅

計根別 矢島 角田 萩原 御嶽山 三田 別府 鶴見崎

##### 2. 野外調査実施図幅

鳥海山 原町 大沢 登米 中野 岡野町 高田西部 大町 檜ヶ岳 谷汲 御在所山 綾部 福知山 京都 西北部 明石 大社 津田 佐伯 尾鈴山

#### II.1.2 地質図幅の研究

###### 〔方針〕

我が国の国土の開発・保全に関する基礎資料を提供するための詳細な地質図として また地質に関する国の基本図として 5分の1の地質図幅を作成・整備する。

併せて 各地域の地質及び地質現象の解明により 日本の地質学の発展に寄与する。昭和62年度は16図幅の地域の野外調査研究を行う。

###### 〔計画の概要〕

##### 1. 野外調査完了図幅(1)

赤名

##### 2. 継続調査図幅(1)

葉茨山 荒砥 玉庭 川俣 磐梯山 真壁 美濃 洲本 宮原 陸中関 身延

##### 3. 新規継続調査研究図幅(4)

朝日岳 若松 折尾 豊岡

##### 4. 62年度印刷・発行予定図幅(9)

黒石 網野 糠内 今金 石動 佐世保 上高地 雫石 五日市

#### II.2 所内特別研究

工業技術院特別研究のシーズ等となる課題 社会的要請の大きな課題 その他 所として重点的に推進すべき課題を所内特別研究とする。62年度は以下の2テーマについて実施する。

##### II.2.1 岩石標準試料作成法の研究

###### 〔方針〕

我が国土を構成する基本的岩石を選択して これまでに確立した岩石の化学分析試料調製法によって分析試料を作製する。本分析試料を国内外の関連研究機関との国際共同研究により 各成分の分析値を求め 標準値(主成分・微量成分・超微量成分・同位体比・地質年代)を確立する。

###### 〔計画の概要〕

1. 岩石・鉱物標準試料の調製(化学分析用粉体試料)
2. 粉碎困難な試料(チャート)のコンタミネーションの無い粉碎方法の検討
3. 国際共同分析の推進
4. 標準値の確立

なお 56~60年度に調製した「火成岩シリーズ」については引き続き国際共同分析を行い 分析値の確立を計る。

## II.2.2 地質CADの研究

### 〔方針〕

ローカルエリア・ネットワークの環境のもとで 地質図を始めとする地理情報のためのワークステーションを開発する。また 地調ネットの構築についても研究する。

### 〔計画の概要〕

1. 地質情報処理ワークステーションの開発  
スーパーミニコンを導入し 地理情報システムの作業環境を整える。既存の地理情報システムの再編成を図る。
2. 地質図インテリジェント3D-CADアルゴリズムの研究  
地層と地形の間の幾何学的な関係から 立体の世界と平面の世界を関係づける機能を開発し 地理情報システムの上に地質図のCADシステムを開発する。
3. 地調ネットの研究  
研究情報の分散処理のために ワークステーション 各種のサーバー類からなるネットワークを研究する。

## II.3 一般経常研究

学界の動向と国及び社会の要請に留意しつつ 研究者の創造性を尊重して各分野の目的基礎研究 地域開発の基礎となる研究等を積極的に進める。その際 とくに新たな研究開発のシーズの育成に留意する。

### II.3.1 地質編さんの研究

#### 〔方針〕

日本列島の地史・地質構造の研究など 国土の地質に関する総括的研究に基づいて 20万分の1及び50万分の1地質図幅や全国地質図等を編さん・発行し またそれらの改訂を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 20万分の1地質図幅の研究
  - 1) 名寄(北海道)
  - 2) 八戸(岩手県・青森県)
  - 3) 宇都宮(群馬県・栃木県・埼玉県)
  - 4) 長崎(改訂)(長崎)
  - 5) 資料収集(鹿児島県)
2. 50万分の1地質図幅の研究  
旭川(改訂)(北海道)

### II.3.2 層序構造地質の研究

#### 〔方針〕

地層の形成と変形過程 堆積盆地の発展と消滅 化石による地層の分帯と年代決定に関する基礎的研究 及び

1987年6月号

これらを通じて日本列島とその周辺の地質・地史の総合的把握を目標とした研究を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 動帯変堆積盆の形成史の研究
  - 1) 北関東の新生界の年代と古地理に関する研究(茨城県・福島県・埼玉県)
  - 2) 近畿・東海地方の鮮新 更新統の古地理の研究(滋賀県・三重県・愛知県)
  - 3) 珪藻質堆積物に関する古生物学的・堆積学的研究(福島県)
2. 島弧におけるテクトニクスの研究
  - 1) 付加過程に伴う造構変形史の解析(愛知県)
  - 2) 西南日本弧と琉球弧の会合部における新生代のテクトニクス(山口県)

### II.3.3 岩石地質の研究

#### 〔方針〕

地質図幅類の精度向上等 その作成に大きく貢献するとともに 地質現象解明のための先行的・基礎的研究方法の開発を目指すものである。

その内容としては グローバルな視点から環太平洋西縁の場における日本列島の各地域・各時代の火成活動・変成作用を解明するとともに 場の特徴を把握する。

#### 〔計画の概要〕

1. 島弧における火山岩類の研究
  - 1) 島弧会合部における鮮新世・更新世火山岩類の岩石学的検討(長野県・新潟県)
2. 火成岩類及びマグマ型の研究
  - 1) 北上山地北部の深成岩類の岩石学的研究(岩手県)
  - 2) 南極セルロランダ―ネ山地の深成・変成岩類の研究

### II.3.4 地質標本の研究

#### 〔方針〕

日本の地質を解明する基礎資料として 日本(及び海外)の代表的な岩石・鉱物・化石の標本を収集し 適切な管理システムの開発により その有効利用を計る。また これらの標本の分類・標準に関する研究を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 地質標本の収集と管理システムの開発に関する研究
  - 1) 電算機による地質標本管理システムの研究
  - 2) 本所関係標本データの整理
  - 3) 支所・出張所関係標本の登録調査(北海道)
  - 4) 地質標本の収集(茨城県・栃木県・山形県・福島県・千葉県 新潟県)
2. 地質標本の分類・標準に関する研究
  - 1) 北海道の新生代貝化石群の研究

### II.3.5 海洋地質の研究

#### 〔方針〕

西南日本の大陸縁辺域から沿岸陸域にかけての地質層序・構造の成因的関連性を明らかにするための基礎的研究 海洋地質データ総合化の研究を実施する。

#### 〔計画の概要〕

1. 西南日本の海陸地質対比に関する研究
2. 海洋地質データの総合化研究
  - 1) 海底火山地域における音響層序対比に関する基礎的研究
  - 2) 海洋地質データの収集・解析

### II.3.6 海洋鉱物資源の研究

#### 〔方針〕

各種の海底鉱物資源の探査の基礎を確立し また成因を明らかにすることを目標として 基礎的な研究 情報・資料の収集と解析を実施する。

#### 〔計画の概要〕

1. 深海底鉱物資源の基礎的研究
  - 1) 海成マンガン鉱物に伴う微量元素分布特性の研究
  - 2) 海底新資源の基礎的研究(東京都)
2. 大陸棚鉱物資源の基礎的研究
  - 1) 海浜一浅海堆積物の堆積機構の研究(茨城県・千葉県)
  - 2) 海底細骨材資源の情報収集

### II.3.7 海洋物理探査の研究

#### 〔方針〕

海底の地学現象に関する調査・研究を実施し併せて調査技術の開発・研究を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 海洋地球物理データの現場処理解析技術の研究
2. 深海底堆積物の磁化獲得機構の研究

### II.3.8 海洋底質の研究

#### 〔方針〕

沿岸水域における底質の堆積機構及び堆積環境評価に関する研究を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 海洋底質の研究
  - 1) 浅海成第四系の堆積年代測定法の研究(千葉県・東京都・神奈川県)

### II.3.9 水資源の研究

#### 〔方針〕

地下水の分布や挙動を 自然の流動形態や人為作用に

よる変化の両側面からとらえ 水質源等に関する各方面の問題に対処するための基礎資料とする。

#### 〔計画の概要〕

1. 水文地質及び水文地図の研究
  - 1) 山形県置賜盆地水文地図の研究
  - 2) 琉球石灰岩の水文地質的対比の総括研究
2. 水文環境の研究
  - 1) 表層細粒質洪積台地の降水による垂直涵養機構の研究(茨城県)
  - 2) 地下水位・水質の通年観測(静岡県・三重県)

### II.3.10 環境地質の研究

#### 〔方針〕

自然災害・環境変化等発生の予測技術の向上に資するため地質構成の精密かつ総合的な把握に基づき 地表変動に関する諸現象の地質的要因を究明する。

#### 〔計画の概要〕

1. 地質災害の研究(茨城県・長野県・東京都)
  - 1) 深成岩地帯における地すべり崩壊地帯の研究(茨城県)
  - 2) 斜面における地質過程に関する研究(長野県)
  - 3) 火山災害と噴火様式に関する研究(長野県・東京都)
2. 平野地盤地質の研究(千葉県・東京都・埼玉県)
  - 1) 臨海平野地盤地質の研究(千葉県・東京都・埼玉県)

### II.3.11 地震地質の研究

#### 〔方針〕

活断層・地震断層など地殻構造の調査研究を行い地震との関連性を追求する。また 地震活動と関連した諸現象の検出方法の開発を図る。

#### 〔計画の概要〕

1. 活断層と古地震の研究(京都府・山形県)
2. 第四紀における構造運動の変遷の基礎的研究(京都府)
3. 広域火山灰の研究(愛知県・宮城県)

### II.3.12 地震物性研究

#### 〔方針〕

地震予知などの特別研究の基盤として またそれらと関連しつつ 地殻及びマントルにおける各種構造運動とくに地震活動の実態把握のための基礎研究を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 地震物性の基礎的研究
  - 1) 微小地震の震源過程に関する研究(静岡県・東京都)
  - 2) 人工地震動の観測及び解析の研究(静岡県・熊本県)
  - 3) 非爆薬振源による地震波速度連続観測法の研究

## 2. 放射性廃棄物処分のための岩石バリアの研究

う。

## 〔計画の概要〕

1. 遠隔探知技術の地熱探査への利用 高度化研究（熊本県）
2. 熱水流動及び熱構造の研究（秋田県・岩手県・山形県）
3. 地熱探査におけるカルデラ規模 火山岩系の研究（青森県・栃木県・群馬県）

## II. 3.16 地殻熱物性の研究

## 〔方針〕

地熱環境下における岩石・地層などの性状の解明に関する研究 及び地熱流体の貯留構造に関する構造地質学並びに地球物理学的研究を行う。

## 〔計画の概要〕

1. 地熱地域の岩石の性状の研究
  - 1) 天然及び人工熱水貯留層の岩石物性の研究
  - 2) 地熱貯留層・熱源の中深度構造に関する地球物理学的研究（秋田県・岩手県・熊本県・大分県）
  - 3) 地熱環境下におけるカップルドプロセスの研究（秋田県）
2. 地熱流体貯留構造の研究
  - 1) 断裂構造と貯留構造（静岡県）
  - 2) 坑井内における地層比抵抗の研究（秋田県・岩手県）
  - 3) 地熱貯留層重力モニタリングの研究（北海道南部）

## II. 3.17 鉱物資源の研究

## 〔方針〕

鉱床分布の規則性等 鉱床生成区に関する基礎的及び応用的研究を行う。

## 〔計画の概要〕

1. 鉱床生成区に関する研究
  - 1) 上信ろう石鉱床区の研究
  - 2) 関東・東北地域のベントナイト鉱床の研究
  - 3) 北関東地域の粘土鉱床の研究
2. 鉱床分布に関する基礎的研究
  - 1) 東北アジアの非鉄金属資源
  - 2) 鉱物資源インベントリー
  - 3) 金鉱床分布に関する基礎的研究
  - 4) レア・メタル資源の評価に関する研究
3. 北関東地域の鉱物資源の研究

## II. 3.18 鉱床探査の研究

## 〔方針〕

鉱床及びその母岩に関して 野外での調査研究を基幹に形成の場と形成機構を解明 鉱床探査の理論と手法の確立に資する

## 〔計画の概要〕

## II. 3.13 地震化学の研究

## 〔方針〕

地震予知研究の一環として観測強化地域等の地下水を対象とし 水位・水温・ラドン・水質等の観測研究を行う。また 地質構造線地域における地下ガスの実態把握 ヘリウム同位体比の測定及び岩石破壊による放出ガス成分等の研究を進め地震予知に資する。

## 〔計画の概要〕

1. 地下水位 水質等による地震予知の研究
  - 1) 東海・伊豆地域の地下水位・水質・ラドン等の観測研究（静岡県）
  - 2) 首都圏における地下水資料収集（茨城県・栃木県）
  - 3) 宮城県東部地域の地下水の観測研究（宮城県）
2. 地下ガスの化学成分の研究
  - 1) 断層破砕帯における地下ガス成分の垂直分布の研究（茨城県）
  - 2) ヘリウム同位体の研究
  - 3) 岩石破壊における放出ガス成分と応力に関する研究

## II. 3.14 地殻熱資源の研究

## 〔方針〕

地殻熱資源評価技術の進歩を目指して地質学的・地球化学的方法によって 地殻熱資源分布及び地熱生成機構に関する基礎的研究を行う。

## 〔計画の概要〕

1. 地殻熱資源分布の研究
  - 1) 仙岩地域地熱地質（秋田県・岩手県）
  - 2) 奥会津地域地熱地質（福島県）
  - 3) 離島地域熱水系の化学的研究（東京都）
2. 地熱生成機構の研究
  - 1) 地熱系における熱水流動に伴う変質の研究（秋田県）
  - 2) 流体包有物による熱水通路形成に関する基礎的研究
  - 3) 深部地熱流体の化学的研究（福島県）
  - 4) 地熱地帯における気体水銀の動態に関する研究（鹿児島県）

## II. 3.15 地殻熱探査の研究

## 〔方針〕

地熱資源探査法の研究として リモートセンシングデータの効果的利用法に関する研究 熱構造把握と物理モデル化研究 ならびにカルデラ規模火山岩系の研究を行

1. 潜頭鉱床の探査手法の研究

- 1) 地質構造解析
- 2) 貫入花崗岩体解析 (山梨県)
- 3) 放射性・希土類元素の分布特性解析
- 4) 微量元素の地球化学的解析

2. 鉱床形成と地域特性の研究

- 1) 黒鉱鉱床の地質構造規制 (秋田県・青森県)
- 2) 塩基性火成岩と関連金属鉱床
- 3) 地熱・温泉地帯での金の濃集機構(大分県・熊本県)
- 4) 足尾山地のタングステン・マンガン鉱床の形成場と地球化学 (栃木県)
- 5) 構造盆地の形成機構とウラン濃集条件

II.3.19 鉱床の研究

〔方針〕

鉱床構成物質の起源と移動・濃集過程の解明 鉱化溶液の起源と性質の解明 さらに鉱床形成に及ぼす地質学的要因の解明など 鉱床の成因に関する基礎的な研究を行う。

〔計画の概要〕

1. 鉱床成因に関する実験的研究
  - 1) マグマ・岩石と水溶液間の反応と実験的研究 (秋田県)
  - 2) 鉱物と熱水溶液間の元素の配分に関する実験的研究
2. 同位体による鉱床成因の研究
  - 1) 熱水鉱化作用の研究 (青森県・秋田県・鹿児島県)
  - 2) 安定同位体による岩石・鉱物の研究
  - 3) 硫黄 鉛同位体による研究
  - 4) 実験法の改良と開発

II.3.20 鉱物の研究

〔方針〕

鉱物 特に鉱床構成鉱物の物理的・化学的諸特性の解明とそれに関連する研究手法の開発を行う。 鉱物の結晶化学的研究 鉱物の記載的研究の2項目を中心に 関連テーマも適宜検討対象とする。

〔計画の概要〕

1. 鉱物の結晶化学的研究
  - 1) 含塩素ガーネット様鉱物の結晶化学
  - 2) 高温型水晶の内部構造
2. 鉱物の記載的研究
  - 1) 古遠部鉱の結晶構造
  - 2) スカルン鉱物類の記載—I
  - 3) 雲母属粘土鉱物標準試料の作成と記載—II

II.3.21 石炭地質の研究

〔方針〕

諸炭田の石炭の物理・化学的特性の調査研究を行い、地質学的諸条件とも併せて 炭田生成機構を解明し 炭田探査技術の開発を図る。

〔計画の概要〕

1. 石炭組織成分及び根源有機物の物理・化学的性質の研究
  - 1) 炭田堆積盆内における炭質特性の変化に関する石炭岩石学的研究
  - 2) 石炭組織成分及び根源有機物の物理・化学的性質と分類基準に関する研究
2. 炭田生成機構の研究
  - 1) 炭田堆積盆の古環境
  - 2) 炭田堆積盆の古地温

II.3.22 石油地質の研究

〔方針〕

我国における代表的な含油・ガス堆積盆の諸特性を体系的に研究し 石油・天然ガスの探鉱開発に資するとともに堆積盆解析 評価技術の開発を図る。

〔計画の概要〕

1. 含油・ガス堆積盆の研究
  - 1) 新潟油・ガス田の研究 (新潟県)
  - 2) 層位トラップ鉱床の研究 (新潟県)
  - 3) 石油・天然ガスの移動・集積過程の研究 (新潟県)
  - 4) シミュレーションによる島弧系堆積盆解析の研究 (新潟県・千葉県)
  - 5) 基礎試錐地域堆積盆の石油地質研究
2. 石油・天然ガス根源岩及び貯留岩に関する研究
  - 1) 新潟県下における新第三系の有機地球化学的研究 (新潟県)
  - 2) 根源岩・貯留岩の物性的研究 (新潟県)

II.3.23 物理探査の研究

〔方針〕

既存の地球物理的手法の発展をはかり国土の保全および地下資源開発上重要な地域について地下構造の解明を図る。 国内の物理探査調査研究活動の総括を行う。

〔計画の概要〕

1. 地球物理的手法による関東一東北地域の地下構造の研究
  - 1) 関東一東北地域の基盤構造に関する研究 (福島県)
  - 2) 地震探査による茨城県南部周辺地域の地下構造に関する研究
2. 物理探査・調査研究活動の総括

### II.3.24 物理探査技術の研究

#### 〔方針〕

各種の物理探査法に関する計測技術 データ処理及び解析法についての基礎的研究を行い、新技術開発の基盤とする。

#### 〔計画の概要〕

1. 波動データ高精度解析手法とインバージョンに関する研究
2. 電気・磁気を用いる探査法の研究
  - 1) 精密電気探査インバージョン法の研究
  - 2) 地上磁気探査におけるノイズリダクションの研究

### II.3.25 応用地球物理の研究

#### 〔方針〕

物理探査データ 岩石物性データ等の処理・解析により地殻構造の地球物理学的解明を図る。

#### 〔計画の概要〕

1. 物理探査データに基づく地殻構造解明の研究
  - 1) 重力データに基づく関東の広域地殻構造解析の研究 (埼玉県・山梨県)
  - 2) 電磁法による火山地域の地下比抵抗構造の研究 (東京都伊豆大島)
  - 3) テクスチャによる岩質区分技術の研究
2. 中部・近畿地方基盤花崗岩類の物理的性質の研究

### II.3.26 地球化学の研究

#### 〔方針〕

地球及び宇宙物質における元素及び化合物の地球化学的な基礎研究を実施し、地質諸現象の解明に役立てる。同位体比測定や地質年代の決定により、地質学上の諸問題の解決を図る。

#### 〔計画の概要〕

1. 火成岩の地球化学的研究
  - 1) 西南日本島弧基盤の同位体地球化学的研究 (高知県・山口県・福岡県)
  - 2) 中性子放射化法による隕石・火成岩中の微量元素分析法の研究 (群馬県)
2. 堆積地球化学の研究
  - 1) 堆積岩の化学組成による古環境・続成作用の研究 (秋田県)
3. 地質年代の研究
  - 1) K-Ar 年代研究 (島根県)
  - 2) <sup>14</sup>C年代研究

### II.3.27 応用地球化学の研究

#### 〔方針〕

環境評価・資源の予測と評価等の基礎となる元素及び化合物の存在量と存在形態を明らかにする応用地球化学の研究と地質試料の分析法の研究を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 地質及び地下資源の応用地球化学的研究
  - 1) 無機地球化学の研究
  - 2) 有機地球化学の研究
  - 3) 海底堆積物の化学成分の研究
  - 4) 温泉の化学組成の研究
2. 地質試料の分析法の研究
  - 1) ICP発光分析法の研究
  - 2) JIS関係等標準分析法の研究

### II.3.28 地形・測量技術の研究

#### 〔方針〕

地質・地下資源及び国土保全等の各分野の調査研究に必要な情報及び基礎試料を提供するため、地形・測量技術に関する計測研究を行う。

#### 〔計画の概要〕

1. 活構造地域における地形・測量技術の研究
  - 1) 空中写真による活断層の変位の測定技術の研究 (山梨県)
  - 2) 活火山地域における地殻変動の精密測定技術の研究 (群馬県・長野県)
2. 測量技術 測量新技術の導入・開発の研究
  - 1) 上信ろう石鉱床区研究の地形測量 (群馬県)

### II.3.29 海外地質の研究

#### 〔方針〕

海外地質及びエネルギー・鉱物資源に関する資料を収集・編さん・解析するとともに国際機関 各国地質調査所などとの共同研究を実施する。

#### 〔計画の概要〕

1. 海外地質の研究
  - 1) 環太平洋マップ・プロジェクト
  - 2) SEATER トランセクト研究 (徳島県・岡山県)
2. 海外地下資源の研究
  - 1) 地球物理データ・インベントリー
  - 2) 堆積盆解析プロジェクト
  - 3) 中国華南のレアメタル資源

### II.3.30 地質情報の研究

#### 〔方針〕

地質情報に関する共通基盤的な情報システムの開発 ファクト・データベースの開発 及び運営環境の整備を行う。

## 〔計画の概要〕

1. 地質情報の基本システムの開発
2. 地質情報技術の研究

## II. 3. 31 地方地質の研究（北海道支所）

## 〔方針〕

北海道地方の特質にかかわる地質・地下資源及び環境地質に関連する重要課題を選択して調査研究を推進しあわせてこれらに関連する資料収集と技術指導を行い地域開発に寄与する。

## 〔計画の概要〕

1. 北海道の資源と地質の研究
  - 1) グリーンタフ地域のテクトニクスと鉍化作用の研究（北海道）
  - 2) 鉍液の化学的研究（北海道）
  - 3) 北海道中央地域の希少金属資源の研究（北海道）
  - 4) 釧路炭田地域の炭層対比の研究（北海道）
  - 5) 臨海平野における地盤地質の研究（北海道）
  - 6) 20万分の1地質構造図作成手法の研究（北海道）

## II. 3. 32 地方地質の研究（東北出張所）

## 〔方針〕

東北地方の地域特性に即した地質・地下資源の調査・研究を行うとともに これらに関する技術指導及び資料収集を実施する。

## 〔計画の概要〕

1. 東北地域の地質及び地下資源に関する研究
  - 1) 東北地域南部の塩基性岩の変質に関する研究
  - 2) 東北地域南部のゼオライト鉍床の研究
  - 3) 北部北上山地安家石灰岩に関する地質岩石学的研究

## II. 3. 33 地方地質の研究（名古屋出張所）

## 〔方針〕

中部地方の地域特性に応じた重点課題を選択し地質及び地下資源の調査研究を推進するとともに 管内の地質・地下資源に関する資料収集・技術指導を行う。

## 〔計画の概要〕

1. 中部地方の地質と窯業原料資源の研究
  - 1) 三河地区の瓦粘土の品質評価に関する研究（愛知県）
  - 2) 東海地方東部の第四系及び第四紀地殻変動に関する研究（愛知県）
  - 3) 中部地方中央構造線に沿う蛇紋岩の窯業利用に関

する研究（三重県・愛知県）

## II. 3. 34 地方地質の研究（大阪出張所）

## 〔方針〕

近畿及び四国地方の地質的特性に応じた地質・地下資源の調査研究を行うとともに 管内の地質・地下資源に関する技術指導及び資料収集を行う。

## 〔計画の概要〕

1. 近畿地方の中生界と新生界の層序・構造及び火成活動の研究
  - 1) 近畿地方における中生層の研究—特に西南日本外帯の秩父・四万十帯について—（和歌山県・奈良県）
  - 2) 近畿・四国地方における第三紀火成岩体の研究（福井県・兵庫県）
  - 3) 近畿・四国地方における新生代火山地質の研究（福井県・京都府）

## II. 3. 35 地方地質の研究（中国出張所）

## 〔方針〕

中国地方の地質特性に応じた地質・地下資源の調査研究を行うとともに 管内の地質・地下資源に関する技術指導及び資料収集を行う。

## 〔計画の概要〕

1. 広島県周辺域の中生代火成岩・領家変成岩類・随伴鉍床の研究
  - 1) 中国地方の白亜紀—古第三紀火成岩類及び随伴鉍床の地質学的・岩石学的研究（広島県・岡山県）
  - 2) 山陽帯のろう石鉍床の研究（広島県）
  - 3) 広島花崗岩に伴うタングステン鉍床の研究（山口県）

## II. 3. 36 地方地質の研究（九州出張所）

## 〔方針〕

九州地域内帯及び外帯の堆積物の生成環境と火成活動に伴う変質作用の特性解明及び変質鉍物の資源的評価。

## 〔計画の概要〕

1. 九州地方の地質及び陶磁器資源の研究
  - 1) 九州地域の陶磁器資源の研究（長崎県・佐賀県）
  - 2) 九州外帯堆積岩類の岩石化学的研究（大分県）
  - 3) 大分県北西部地域新期火山岩類の地質学的研究（大分県）
  - 4) 九州内帯中・新生代堆積層の石炭地質学的研究（熊本県）